

北海道立学校ふるさと応援事業実施校一覧

管内	学校名	事業名	事業内容	必要性
胆振	苫小牧西高等学校	アクティブラーニング等の授業環境充実事業	プロジェクターや大型ディスプレイ等のICT機器を活用し、アクティブラーニング等の授業改善を進めるための環境整備	アクティブラーニング等の授業で活用するICT機器の充実や、視聴覚教材を有効活用する環境を拡充させ、生徒の主体的・共同的な学びや学力向上を実現するICT関連機器の整備が必要である。
		部活動サポート事業	部活動の充実・活性化に向けた物品の購入	部活動に必要な物品について、特に高額な備品等については購入できないため、運動系や文化系の部活動における備品を購入し、部活動の環境を整備し、部活動の活性化を図りたい。
胆振	伊達高等学校	部活動サポート事業	吹奏楽部の楽器等の購入	地域の文化の推進役として有能な人材を輩出してきた実績があり、内外より高い評価を得ている吹奏楽部の活動を更に充実・発展させ、本校や地域の新たな発展及び人材育成に繋げたい。
胆振	白老東高等学校	「しらおい」で地域とともに学ぶ伝統文化～国立アイヌ民族博物館と民族共生象徴空間（ウポポイ）を中心とした「地域学」の取組～	白老町のアイヌ民族の歴史について、生徒が主体的・協働的に学び、生活様式・調理体験・音楽体験・言語活動など、郷土に根付く伝統や文化の価値を感受するとともに、地域イベント等で地域の伝統文化の魅力等を発信する。	2020年には国立アイヌ民族博物館・民族共生象徴空間が開設される中で、地域と連携した取組を行い、地域を支える人材育成を図るとともに、先住民族の歴史について生徒が主体的・協働的に学び伝統や文化の価値を感受し、地域の伝統文化の魅力等について町内外に情報発信を広く行うことが求められている。
胆振	追分高等学校	主体的・対話的な深い学びの授業の推進	生徒の特性に応じた主体的・対話的な深い学びの授業を推進するため、プロジェクターなどの電子機器を整備し、視覚に働きかける授業や自ら学び探究する授業を展開	本校の生徒の特性を踏まえICTを活用することにより、生徒の自主的・自発的な活動を促すことや学習意欲を向上させることができる。
胆振	鶴川高等学校	鶴川高からむかわ町を盛り上げようプロジェクト	むかわ町内にアンテナショップを立ち上げ、高校生が考案した商品を高校生の手で販売する。	高校生が地域創生と震災からの復興という視点から、むかわ町に関する商品の企画・考案・製品化を行うことにより、町を盛り上げ、高校生の自己有用感・達成感も学ぶことができる。